

総合地球環境学研究所 2022 年度開始分 実践 IS・FS 公募説明会
質疑応答集

Q1 採択された場合は長期的なプロジェクトとなりますが、途中でリーダーを交代することは認められますか？

A1 IS から FS まではリーダーを交代することはできません。プロジェクトリーダーを交代する場合は、新しい提案として申請する必要があります。ただし、FR に進んでからリーダーを交代した例が過去にいくつかあります。

新しいリーダーは地球研の教員となっていただく必要があるため、人事案件となり、人事委員会にて審査され、承認された場合に交代が認められます。FR の 5 年間の中でリーダーの交代が予定される場合は、最初の提案の段階からそれを含めて申請いただく必要があります。

Q2 プロジェクトは IS から FR にかけて、予算規模とともに徐々にチームが大きくなっていくようなイメージですか？

A2 プロジェクトは IS から FR に進むにつれて、予算規模が大きくなり、通常は共同研究員の数が増えていきます。IS・FS で終了することを想定した提案は受け付けていませんが、審査の結果、IS・FS で終了することもあります。

Q3 研究チームについて、メンバーの構成要件はありますか？

A3 プロジェクトの共同研究員の構成（分野の割合など）について特に決まりはありません。

Q4 リーダーの他に共同リーダーを置くことはできますか？

A4 共同リーダーを置くことは可能ですが、必ず置く必要はありません。

Q5 他のファンドと合わせて研究費を使用することはできますか？

A5 他のファンドと合わせて研究費を使用しても問題ありません。

Q6 FR では研究員・上級研究員の雇用人数の上限はありますか？

A6 プロジェクト経費の範囲内であれば雇用に制限はありません。

Q7 ISの申請書と履歴書のどちらにも業績を書く欄がありますが、重複したものを出してよいのでしょうか？ それとも、期待されている内容に異なる視点があるのでしょうか？

A7 研究計画書にある研究遂行能力については、研究計画に直接関係するものを記載してください。履歴書にはプロジェクトに関係していないものも記載いただけます。

Q8 研究計画書の研究遂行能力について、日本語版は5ページ以内、英語版は1ページ以内と指定されていますが、理由はありますか？ また、研究計画書の1~4の項目について、4ページ以内で記載するよう指定されていますが、参考文献の記載などが5ページ目にはみ出してもよいのでしょうか？

A8 原則として指定のページ数以内で記載いただきますようお願いいたします。研究遂行能力の欄に記載するうえでページが足りない部分については、履歴書に記載することもできます。来年度以降、頂いたご意見をもとに様式の変更について検討いたします。

Q9 採択の倍率はどの程度でしょうか？ また、ISで終了するプロジェクトはどの程度ありますか？

A9 第3期と第4期では公募の方法が異なります。第3期は全てのプログラムで一斉に公募していたため、応募数が多かったですが、令和4年度は松田プログラムのみ公募となり、現時点では応募数がどのようになるかわかりません。ただ、IS採択、ISからFS、FSからFRにかけて競争率が高くなるようなイメージです。

Q10 他の機関の共同研究の場合、受け入れ教員が必要となりますが、この公募では必要でしょうか？

A10 応募に当たって受け入れ教員の指定は必要ありません。プログラム・ディレクターがその役割を担うこととなります。

Q11 FRに移行した場合、クロスアポイントメントの割合に決まりはありますか？ また、クロアポの場合、所属する大学での仕事へのサポートはありますか？

A11 地球研の教員として採用された場合、地球研の構成員として運営に関わっていただくため、クロアポでは、地球研に 70%以上のエフォートを割くことが条件となります。採用については、事前に双方の機関で事務的に調整してから手続きを行います。

Q12 自身が複数の研究テーマを持っている場合、採用後に、地球研に応募した研究テーマと別のテーマで研究費に応募することは可能でしょうか。

A12 地球研プロジェクトに支障のない範囲での、別テーマでの研究実施については、特に制限していません。

Q13 申請資格に年齢要件はありますか。

A13 申請にあたって特段の年齢制限はありません。ただし、プロジェクト期間中に定年を迎えるような場合、定年を超えての雇用はできないため、プロジェクトリーダーの交代を含めた計画書を作成いただくこととなります。

Q14 総合地球環境学研究所 FR、FS 及び IS 審査実施要領に「第二 FR、FS、IS の段階ごとの評価基準については、別に定める。」とあるが、何を指すのでしょうか。

A14 審査実施要領末尾のプロジェクト審査基準(和・英)が採択に関する審査基準となっています。

Q15 FR に移行するため、地球研に教員として着任する時、クロスアポイントを行う場合は、PR 期間に手続きを行う必要がありますか。それともそれ以前に行う必要がありますか。

A15 2月の研究プログラム評価委員会（外部審査）で FR 移行審査が行われ、2月中旬に採択が決定されます。それ以前（可能であれば11月の研究審査・報告会前）に、地球研へのエフォート 7割の担保については所属機関に了承いただきたく思います。着任してから PR となりますが、具体的な人事手続きは PR 期間に行われることが多いです。

Q16 IS から 6 か月で FS 移行する場合、審査等はいつになりますか。

A16 以降希望を伺うのは夏頃です。2022年度の移行審査は9月1日または2日を予定しており、以降が認められた場合は10月からFSに移行していただきます。この場合、FR移行に関する11月の研究審査・報告会で内部審査を受けていただき、認められた場合は2月の研究プログラム評価委員会でも外部評価を受けていただきます。そこで認められた場合は、

4月からFRに移行していただきます。

Q17 フィールドワークを主とした研究を考えていますが、松田プログラムにおける地球環境問題の位置づけはどのようなものですか。

A17 我々の研究活動には、地球環境問題の解決に資する研究がベースにあり、またそれを志そうとしていますが、それが一体何で、どのようにすればよいか確信を得ることは難しいです。一点言えることは、フィールドからアプローチするプロジェクトはこれまでもあり、またこれからも出てくる重要なチャンネルだということです。地域おこしや地域の生活状況の改善をすることが最終目的にあるように見えるプロジェクトも、それらが本当の目的ではなく、汎用性や拡張性を目指しています。申請される場合、計画は地域限定の研究にならないような建て付けにし、プロジェクトの中に潜在的に拡張できるようなチャンネルがあるものにしていただければと思います。

Q18 途中プロジェクトリーダーの交代となる場合、あらかじめ研究組織にプロジェクトリーダー交代要員を指定しておくことで最大5年のプロジェクトをすすめることができる、と考えてよいでしょうか。

A18 プロジェクトの途中で定年を迎えられる等の場合、プロジェクトリーダーの交代を含めた研究計画書を提出することで、最大5年のプロジェクトを行うことが可能ですが、後任者の着任にあたっては、様々な所内手続きが必要となります。

Q19 プロジェクトリーダーであったものが、定年後、提案プロジェクトにかかわる方途はありますか。例えば、プロジェクト研究員という立場で引き続き参加し、差し支えない範囲で研究実務に参加し、場合によっては、プロジェクトリーダーを支援する、ということは許されているのでしょうか。

A19 元リーダーがプロジェクトメンバー等(雇用関係のない共同研究員)として提案プロジェクトに関わる例はこれまでにいくつかあります。なお、定年後にプロジェクト研究員の立場が保証されているというわけではありませんのでご了承ください。

以上